

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和7年12月19日

事業所名 放課後等デイサービスけやきの森

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8		十分な広さがある。室内で運動遊びを行えるスペースがある。	
	2	職員の配置数は適切である	8			子ども1.5名に対して職員が1名配置。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	一部、段差あり。	現時点では怪我や事故につながるトラブルが無く、車イスの利用者がいない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8		定期的に実施。	職員の意見も積極的に取り入れている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8		職員向けと同時期に実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	1	現時点では行わない意向で進めている。	保護者からの希望が集まった際、実施するか検討していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8		民間の研修にも定期的に参加。	業務の一環として研修に参加。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8		児発管が作成。各々のファイルにて保管している。	職員が希望すれば個別支援計画の閲覧可能
適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	8			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8		職員と共有している	職員の意見を積極的に取り入れている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		季節や利用時間に合わせて対応。	子ども達と一緒に活動に取り組む。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	8		それぞれの特性に合わせて計画している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8			子どもの特性に合わせ、どの職員がつかかその都度確認を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	支援終了後、時間を確保できる時に実施している。	職員の負担にならない程度に時間を確保。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8		帳面・個別記録日誌にて記録。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8		半年に一度児発管が実施。	現在、29名が在籍。毎月5~6名程モニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8			

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7	1	支援学校には直接連絡。地域の学校には保護者経由。	いきいきは保護者がアプリで登録をする必要があるとの事で、事業所が直接連絡する事はほぼ無い状態。支援学校は直接連絡する事が多い。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8		必要に応じて対応していく。	現時点では該当利用者不在。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	2	実績がない。	今後、利用者の状況に合わせて実施していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7	1	実績がない。	今後、利用者の状況に合わせて実施していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	助言とまでは言い難い印象。	研修は受けているが、助言と言う文言が当てはまるかどうかは判断が難しい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	2	他放デイとの関りがある。	地域の子どもとはタイミングが合えば一緒に活動をする機会を設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8		第二金曜日。	淀川市役所にて毎月実施。参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレン特レーニング等の支援を行っている	8		必要があると判断した家庭に実施。	必要かどうかモニタリング等で判断。保護者からも要望があれば実施していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		契約時に説明。	契約後も問い合わせがあればその都度ご回答させていただいている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	7	1	保護者同士の連携支援は行っていない。	保護者から他の保護者とのつながりが欲しいと要望が出てきた時には実施していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8		当日中に対応。	その日の内に対応を心掛けています。電話での対応を中心に必要があれば、ご自宅まで出向く時もあります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8		会報月1回。ブログ随時。	
	35	個人情報に十分注意している	8		鍵付きロッカーにて厳重管理。	事務所にて管理。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8			

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	半年に一度実施。	別に防災センターへのお出掛けも実施。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	現時点では対象となる利用者が不在。		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			